



南和広域医療企業団発行

はびねすだより 6号

～南和地域の医療と健康に関する情報誌～



「ひとつでも多くの救える命をすくうために」

奈良県ドクターヘリ運航中！！

南奈良総合医療センターに常駐しているドクターヘリは、機内に人工呼吸器や除細動器、エコー装置を備え、医師と看護師が同乗して直接救急現場に向かいます。

県下全域に約15分以内で到着できることから、より緊急性の高い患者さんの救命率の向上が期待されます。

〔ドクターヘリの出動要請は、消防機関が緊急性や重症度等を判断して行います。〕

目次

- ・《地域がん診療病院》に指定されました。
- ・お知らせ：健康フェスティバル2017
- ・センター紹介：消化器病センター
- ・診療部長の紹介
- ・部門紹介：臨床検査部
- ・吉野病院より
- ・編集後記

南和広域医療企業団は、県と1市3町8村で構成し、下記の南和3公立病院を運営しています。

(連絡先) 南奈良総合医療センター	〒638-8551	吉野郡大淀町大字福神8番1	電話: 0747-54-5000
吉野病院	〒639-3114	吉野郡吉野町大字丹治130番地の1	電話: 0746-32-4321
五條病院	〒637-8511	五條市野原西5丁目2番59号	電話: 0747-22-1112
南奈良看護専門学校	〒638-8561	吉野郡大淀町大字福神7番地の1	電話: 0747-54-5061

《地域がん診療病院》に指定されました。

がん相談支援センター長 吉村 淳

南奈良総合医療センターは、4月に《地域がん診療病院》の指定を厚生労働大臣からいただきました。

《地域がん診療病院》とは、地域におけるがん診療の中心として、専門的ながん治療を提供するとともに、患者さんの療養を支援する医療機関です。南和地域には、このような病院がありませんでしたが、当センターが体制を整備してこの役割を担っていくことになりました。

このことは、《奈良県がん診療連携拠点病院》である奈良県立医科大学附属病院との連携を基盤としており、症例についての合同検討会（カンファレンス）や人事交流を行っていくほか、放射線治療や高難度手術が必要な患者さんは、すみやかに奈良県立医科大学附属病院にご紹介いたします。

院内では、各診療科が先進的治療を取り入れた診療の実践に努力しています。例えば胃カメラ、大腸内視鏡、腹腔鏡などを用いた胃がんや大腸がんの手術などを積極的に行っています。また、がんの予防の観点からの禁煙の啓発・サポート、早期発見のための検診の実施、抗がん剤治療を安全に行う化学療法室の設置などのほか、心身両面で患者さんを支える緩和ケアの充実にも取り組んでいます。



消化器外科手術のようす



化学療法室：点滴は常にダブルチェック！！

【お知らせ】

「健康フェスティバル2017」を開催します。今回のテーマは『がん』です。

ご参加をお待ちしております。

開催日：2017年11月12日（日） **場所**：南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター

センター紹介

消化器病センター

消化器病センター長 阪口 浩

皆さん、毎日の食事はおいしくお召し上がりですか？ 毎日、排便はスッキリ・どっさりですか？ 妙にだるかったり、微熱や気になる痩せはないですか？ 便に血が混ざっていませんか？ お腹が張ったり痛くはないですか？

消化器病は、こんなちょっとした症状に潜んでいます。病気は、食道・胃腸・肛門から、肝臓・胆嚢・膵臓などの軽い炎症から潰瘍・がんまで様々で、病気の種類と程度・患者さんの年齢や体力・余病の有無によって、最も適した治療法も色々です。

消化器病センターは、消化器病を専門とする内科（消化器）、外科（消化器・総合）、放射線科の医師が、それぞれの専門性を生かし、協力し合って、一人一人の患者さんに最適な診断と治療を行っています。また、奈良県立医科大学附属病院の病理診断科の専門医とも定期的に検討会を行い、常により良い消化器病診療を追求しています。

診療部長の紹介

当企業団の各診療科部長を2回に分けてご紹介します。

あかし ようすけ

総合内科 **明石 陽介**

私たち総合内科は、ひとりひとりに寄り添い、地域に根ざした温かい医療を提供したいと考えています。

総合内科診療（入院/外来/救急）・在宅医療・へき地医療・災害医療・学生研修医教育を柱に、これからもがんばっていきます！



もりかわ よしのぶ

内科（循環器）**守川 義信**

奈良県立医科大学と連携し心疾患の積極的な治療を行っております。

また、循環器サポートチームを拡充し、地域全体の「健康寿命」を伸ばすため患者様と共に前進していきます。



くれまつ ゆかこ

内科（内分泌代謝）**樽松 由佳子**

南和地域の甲状腺疾患などの内分泌診療を充実させ、患者さんにより適切で専門性の高い良質な医療を提供できるよう、努力したいと思います。



さわい まさよし

内科（消化器）**沢井 正佳**

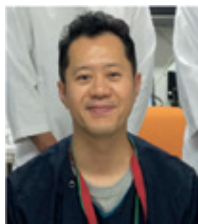
特に上部消化管・胆膵疾患の内視鏡関連手技におきましては、豊富な症例を経験しております。奈良県立医科大学とも密に連携しており、安全で満足いただける医療を行っていく所存でありますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



うの けんじ

内科（感染症）**宇野 健司**

南和地域の感染症診療・感染対策をさらに充実させ、地域の皆様が安心して治療を受けて頂ける環境を作りたいと思っています。宜しくお願いします。



てらだ しげき

小児科 **寺田 茂紀**

少子化が進む南和地域において救急疾患を中心にひろく小児医療をしていきます。また健診、予防接種等の予防医学にも貢献いたします。



よねやま けいじ

耳鼻咽喉科 **米山 恵嗣**

中学1年生の時の授業中に聞いた「してあげるではありません。させて頂くのです。」の言葉に考え方、生き方に強い影響を受けました。「ひとに喜ばれることをするのは、自分自身の功徳を積ませて頂くことになる」と私なりの解釈をして生き方の規範にしてきました。このたび南奈良総合医療センターの開院とともに36年ぶりにこの言葉に出会ったこの地に戻ってきました。この地でその出会いの恩返しをしたいと思っています。



はるた しょうじ

産婦人科 **春田 祥治**

当科では、卵巣のう腫、子宮筋腫や骨盤臓器脱（子宮脱）など主に良性疾患を中心とした手術、更年期、月経異常などの診療や子宮がん検診、そして奈良県立医大と連携して妊婦健診を実施しております。今後も南和地域の皆様のためにより良い産科婦人科医療を提供いたします。



臨床検査部は、中央部門に位置し、検体検査、微生物検査、病理検査、輸血検査、生理機能検査を担っています。病院の理念である『まごころをこめて、良質で最適な医療を提供する』ことができるように、縁の下の力持ちとして、患者さんの治療の一助となるよう、正確で適切な検査データを提供できるよう努めています。

検体検査業務

患者さんから採取した血液や尿、便、細胞などを『検体』と言います。検体検査には各臓器の異常を反映する血液検査・生化学検査、悪性病変などを確定診断する病理検査、微生物やウイルスを見つける細菌検査、適合した安全な輸血を行うための輸血検査が含まれます。



「検査室風景」



「検査室風景」

当院は、これらの検査を円滑で、また、患者さんへの負担を最小限にすべく、スタッフが1つのフロアで情報交換できる体制をとり、迅速に結果を提供できるよう心掛けています。

生理機能検査

患者さんの体を直接調べる検査を『生理機能検査』と言います。

生理機能検査には、心臓や血管をみる心電図や脈波検査、肺活量や呼吸状態を確認する呼吸機能検査、神経や脳の病変を見る脳波検査や神経伝導検査、超音波を利用して臓器の状態や腫瘍の詳細な観察を行う超音波検査（エコー検査）などがあります。患者さんの状態に応じて、安心して、安全に検査を受けていただくことができるよう、心掛けています。



「エコー検査室」



「生理検査室」

吉野病院(3階病棟)より

3階病棟は病床数46床の療養病棟です。ディルームやスタッフステーション入り口には季節ごとの飾りつけをし、季節を感じられるレクリエーションを行なうなど療養環境の充実に励んでいます。患者さんが安心して療養していただけるようスタッフ一同笑顔で温かい看護の提供を実践しています。



編集後記： 企業団が発足して1年5ヶ月が経過し、その間奈良県ドクターヘリの運航が開始され、今年4月には五條病院がリニューアルオープンしました。はびねすだよりでは、地域の皆さんにその時々話題を提供し、病院内部の機能紹介など発信していきます。今号は消化器病センター、臨床検査部、各診療部長を紹介をさせて頂きました。また次回をお楽しみに。